

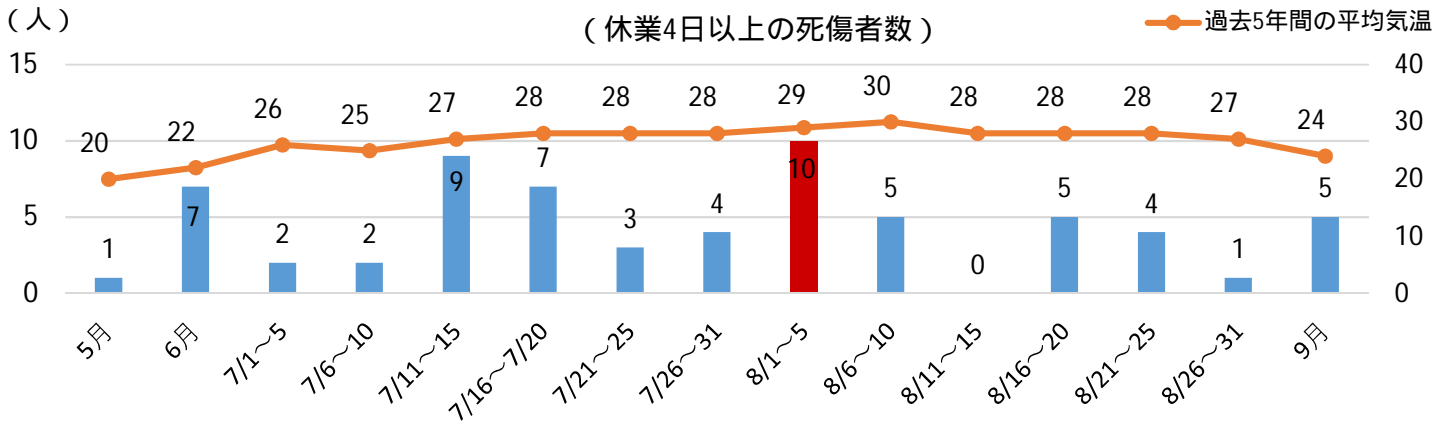
熱中症の発生警戒時期です！

～ 重点的に熱中症対策を進めましょう～

例年、気温の変動時に熱中症の発生が多く、特に8月初旬が熱中症発生のピークとなっています。

また、今年は、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策との両立も必要です。

平成27年～令和元年 三重県内における熱中症による労働災害発生状況



重点取組事項

JIS規格に適合した測定器を用いて、「WBGT値(暑さ指数)」を測定しましょう。

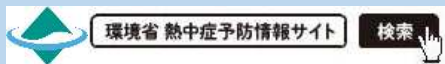
「WBGT値」にもとづき、日よけの設置等による暑さ指数の低減、作業時間の短縮等を進めましょう。

毎日、定期(作業開始前・午前休憩・昼休憩・午後休憩・作業終了時)に、「水分」及び「塩分」の摂取状況、「健康状態」をチェック(裏面「管理表」)しましょう。

事前に緊急時の連絡体制を整備しましょう。

～異常を認めたら、「直ちに報告」・「一人にしない」・「医療機関を受診」～

熱中症予防の具体的な対策・教育資料などは、下記のサイトから入手できます



新型コロナウイルス感染症の予防と熱中症予防の両立を図りましょう！

屋外で十分に距離(2メートル以上)が離れて、感染防止対策が取られている時は、マスクを外すことは可能です。

粉じん作業や有害業務に係るマスクは外さないでください。

マスクで顔色の変化が見えにくくなっています。
適時、健康チェックを！

詳しくは、

コロナ 熱中症 厚労省

検索

熱中症を防ぐために
マスクをはずしましょう

ウイルス感染対策は忘れずに！

屋外で
人と2m以上
(十分な距離)
離れている時

2m以上

十分な距離

2m以上

マスクを着用していると熱中症になりそう...

【マスク着用時は】

激しい運動は避けましょう

のどが渇いていなくても
こまめに水分補給をしましょう

気温・湿度が高い時は
特に注意しましょう